

第223号  
2009年  
3月25日

# どついたち新聞

発行所  
全損保  
日動外勤支部  
東京都中央区銀座5-13-7  
日動東銀座ビル5階  
TEL 080-1212-4252  
TEL 080-1214-4192  
編集発行 教宣部

## 第22回 金融3争議共同行動

# 総力あげて 解決迫る

～ 原告含む 46名が リレートーク ～  
「引き続き 外勤社員として働きたい」  
「一日も早く この争議を解決させたい」

## 黄色いハンカチにも原告の願い

3月23日(火)、第22回金融3争共同行動が開催されました。この日は朝の丸の内宣伝行動を皮切りに、午前中はAIGスター生命での抗議行動、昼から東京海上日動火災本社前で抗議・要請行動、引き続き午後5時まで回答待機行動をおこないました。

昼からの本社前行動からは、前回同様、地方組合員も合流し、総力をあげて会社に解決を迫りました。今回の行動では、本社前に「引き続き外勤社員として働きたい」「一日も早くこの争議を解決したい」という原告全員の願いが書かれた黄色いハンカチが掲げられました。風が強かったこの日、この黄色いハンカチが勢い良くはためき、道行く人の目を奪っていました。

この日の行動でも、多くの他労組・他団体の代表者の方々が、いまだこの争

議の解決を決断しない東京海上日動社に力強い抗議の声を発してくれました。「このたたかいが、全面勝利・全面解決する最後の最後まで、支援していく。ともに頑張ろう」という言葉に、組合員全員が大きな勇気をいただきました。今回は、原告のリレートークも行われ、延べ46名がマイクを持ち、会社に一日も早い解決を迫りました。前回と合わせたリレートークの人数は91名にもものばりました。

また、前回に引き続き、松平晃さんのトランペット演奏や歌声合唱団の皆さんのコーラスが、この日の行動に活力を与えてくれました。加えて、こうした労使紛争の抗議行動の場で「歌ったたたかいはすべて解決している」という歌手の橋本のぶよさんも応援にかけつけてくれ、会社に抗議の歌声を響かせてくれました。

風が強く、桜が咲き始めた東京でも、とても肌寒く感じられたこの日でしたが、前々回のおでん、前回のトン汁に引き続き、今回はスイトンがふるまわれ、参加者の体と心を温めてくれました。また、今回も着ぐるみを登場させたり、私有車宣伝行動をおこなったり、外国人の方には英語ビラを配布したりと、一人でも多くの方にこの行動を注目してもらえる取りくみを工夫しておこないました。

こうした行動を通して、私たちは、徹底的に、東京海上日動社の「判決」や「命令」に従わない不当な出方を世論に訴え、東京海上日動社を社会的に包囲していくことで、全面勝利解決をめざします。

～ リレートークのエッセンスを掲載しました ～

( \*また、徳島県労連・見田治議長より、金融三争議共同行動へメッセージをいただきましたので、あわせて8ページに掲載します。 )

1. (46) 松平晃さんによるトランペット演奏 『世界にひとつだけの花』 『いい日旅だち』 団結と連帯の力で、東海日動社の経営者が解決を決断するよう頑張りましょう。
2. (47) 金融労連・貝ノ瀬中執 労使紛争を長く抱える企業が健全な経営を行えるはずがない。みなさんの力を集めてこの金融3争議がすべて解決するまでたたかう。

3. (48) **国民春闘共闘事務局長 全労連・小田川事務局長** 市民社会に支えられている企業が裁判所の「判決」や労働委員会の「命令」に従わないことなど許されない。儲けのためなら何をしてもよいという考え方はもはや通用しない。みなさんのたたかいが勝利する意味は大きい。正義は必ず勝つ。最後まで共にたたかうことを約束する。
4. (49) **国労 東海本部・上野書記長** 東海日動のホームページにはコンプライアンス宣言など良いことが書かれているが、まったく実践されていないではないか。お互いに笑って春が迎えられるよう、共に頑張ろう。
5. (50) **国労 釧路地区争議団・丸山原告** 国労のたたかいも23年目を迎えるが年度内解決をめざし、アルバイトを休んで、上京してたたかっている。勝利をめざして、共にたたかおう。
6. (51) **千代田区労協・水窪事務局次長** おもしろいもので法令遵守を強調する企業ほど法令を守れない。東海日動もまさにその典型だ。このたたかいが解決するまで、力を尽くす。
7. (52) **東京争議団共闘会議・斉藤副議長** どんなに厳しいたたかいをしていても必ず春は来る。争議は解決する。お互いの力を出し合いながら、この東京から労働争議をなくし、差別をなくしていく。共に頑張ろう。
8. (53) **全損保・吉田委員長** 128年守り続けたトップの座から陥落することになるが、東海日動の経営者は「いまは規模を追う時代ではない。我社は王道を行く」などと言っている。しかし、東京海上日動こそ「規模」を誇示し、力任せに競争秩序を乱し、それが、「保険金不払い」を生み、損保業界への社会的信頼を失墜させた。東京海上と日動火災の合併では、違法な組合介入を行い、日動社の外勤社員を平然と追い出し、いま、労使紛争を解決することもできないでいる。東京海上日動に「王道」を語る資格はない。

コンプライアンスが意味するところは、法の精神に則って社会に説明できるように遂行すべき行動をとるということ。形式的に「法令遵守」がされればよいということではない。三審制だからと言って「判決」や「命令」に従わないなどという、この会社の態度は、到底、容認できるものではない。

東海日動が王道を歩むというなら、まずは自社に下された「判決」や「命令」を守ることだ。いま、儲けのためなら何をしてもよいという考え方は社会からNOを突きつけられている。私たちは、この社会の追い風を背に受け、この争議を解決する。共に頑張ろう。
9. (54) **橋本のぶよさんによる歌** 『この町から』『春へ』など計4曲。要請団を中に入れない会社対応を初めて見た。労働者を大切にできな

い会社はお客さんも大切にできないのではないか。最後までたたかきましょう。

10. (55) **歌声合唱団(総勢13名)によるコーラス** 『がんばろう』『花』など計5曲。
11. (56) **原告・浅川執行委員** 課所の懇親会などで職場の方と話し込んでいくと、私たちのたたかいが注目されていることがわかる。会社が解決を決断しなければ500万枚でも1000万枚でもピラを配り、何百回でも社前行動を行っていく。世論に訴えて、絶対にこのたたかい勝利する。
12. (57) **原告・森組合員** アメリカの経済が破綻し、利益第一主義の考え方は完全に否定された。さらに利益をあげるために私たちを社外に放り出そうとしている会社を決して許せない。共に頑張りましょう。
13. (58) **原告・磯崎組合員** 一日も早くこのたたかいを終わらせ、お客さんに対し、腰の座った営業がしたい。引き続き、私たちに力を貸してください。
14. (59) **原告・浜見組合員** 会社が解決を決断するまで、徹底的にたたかっていく。引き続きご支援、よろしくお願いします。
15. (60) **原告・関組合員** 不当に引き去った組合費の200万円、いつになったら返してくれるのか。こんなに体力のある会社が、わずか50名足らずの私たちの雇用を守れないはずがない。一日も早く解決の決断をせよ。
16. (61) **松平晃さんによるトランペット演奏** 『桜』『バラが咲いた』『北の国から』など計10曲
17. (62) **歌声合唱団・大熊さんの歌** 『あきらめない』『翼をください』。決してあきらめないで頑張りましょう。歌をうたって支援していきます。
18. (63) **原告・井出組合員** 大きな会社と合併して「何が良いことがあるの?」とお客さんから聞かれたが、返す言葉がなかった。お客さんも私たちの勝利を心からのぞんでいる。共に頑張りましょう。
19. (64) **原告・高橋組合員** 安心品質を掲げている会社が判決や命令に従わないのは許せない。会社は一日も早く解決を決断すべきだ。
20. (65) **原告・矢田組合員** 要求書を提出しても回答を示さない、社内にも入れさせない会社を許せない。一生懸命たたかって、このたたかいに勝利したい。ご支援よろしくお願いします。
21. (66) **金融労連・笹本中執** 儲けのために一方的に従業員の雇用を切り捨てる行為は許されない。高梨さんのたたかい、日勤外勤のたたかい、勝利の日まで共に頑張りましょう。
22. (67) **橋本のぶよさんによる歌** 『アメージンググレース』『ケッ

パラ』。

23. (68) **明治乳業争議団・村山事務局長** わずかな期間に400万枚ものビラを配る皆さんのたたかいはすごい。最大の武器だと思うし、そうした取りくみを通して団結が生まれるはずだ。共に頑張ろう。
24. (69) **歌声合唱団(総勢13名)によるコーラス** 『どんと来い2009』『青い空』『手のひらに太陽を』など5曲。
25. (70) **東京金融共闘・鈴木議長** 学生の街である高田馬場で、皆さんのたたかいのビラを配ったが、「東京海上日動はこんなことをやっていたのか」と学生から大きな反響があった。このたたかいが一括して解決するまで、共にたたかうことを約束する。
26. (71) **原告・奥田執行委員** 常識を説く経営者が「判決」や「命令」に従わないなど許されるはずがない。世界の潮目が変わろうとしているいま、時代遅れの経営者は退陣すべきだ。勝利するまで共にたたかおう。
27. (72) **原告・竹田副委員長** お客さんから「保険に入っていて良かった」と言われるのが私たちの働きがいた。私たちはこの外勤社員の仕事に誇りを持っている。外勤社員として働き続けるために最後までたたかっていく。
28. (73) **原告・篠崎組合員** 会社はどこまで評判を下げたら、このたたかいを終わらせるのか。私たちは勝利するまで徹底的にたたかう。社長が決断さえすればこのたたかいは終わる。一刻も早く決断せよ。
29. (74) **橋本のぶよさんによる歌** 『私を褒めてください』『ふるさと』。私がこうした労使紛争の抗議行動の場で歌ったたたかいはすべて解決している。皆さんのたたかいも絶対に解決します。頑張りましょう。
30. (75) **原告・天野(憲)組合員** ポスティングビラは東京26区中、14区の全戸配布を達成した。隔週の水曜日にはここ丸の内で宣伝行動を行っている。小さなことをコツコツと積み上げていくと、やがて大きな成果をもたらす。このたたかいの全面勝利解決という目的達成にむけて、最後の最後まで頑張る。
31. (76) **原告・佐藤組合員** 会社は何のために商売をするのか、何のために企業を存続させるのか。人のためじゃないのか、お客様のためじゃないのか。経営者は一日も早くこの争議を解決すべきだ。
32. (77) **原告・山地組合員** 早く要請書の回答を示せ。いま会社は盛んにTVCMを行っているが、この争議を解決した方がどれだけ評判があがるかわからない。一日も早く解決を決断せよ。
33. (78) **原告・長田組合員** 「保険料の払い方って、なんで会社が決めるんだ。保険料を払うお客が決めるものじゃないのか」。そういうお客

さんの本音を聞くと、なにが安心品質、なにがお客様第一主義なのかまったくわからない。お客さんの生の声を社員として経営政策に反映できる俺たちは必要なはずだ。お客さんや、外勤社員・代理店の側に立った経営こそ、いま必要だ。このたたかい、絶対に勝つまで続ける。覚悟しとけ。

34. (79) **原告・稲葉組合員** 会社は私たちが何がなんでも追い出したただけだ。そんな会社を信用することができない。世論に訴えて勝利するまでたたかう。ご支援よろしく申し上げます。
35. (80) **原告・成田組合員** いつも私たちのたたかいを他支部・他労組の方が応援してくれる。そういう姿に勇気付けられ、たたかってきた。このたたかい、絶対に勝つ。引き続きご支援、お願い致します。
36. (81) **原告・天野(秀)組合員** 回りの皆さんが理解してくれるまで、ピラをまき続ける。勝利の日まで共に頑張ろう。
37. (82) **東京金融共闘・近藤副議長** こういった行動を社前で 22 回も行なわれている企業の経営者は、いったい経営責任をどう考えているのか。労使問題をここまでこじれさせている経営者の責任は重い。この問題が解決するまで何度でも支援に来る。一日も早く解決を決断せよ。
38. (83) **銀産労・牧野委員長** 法令を守ることを宣言している企業が自社に下された「判決」や「命令」に従わないことは本当に異様にうつる。すべての争議が解決するまで共にたたかっていく。
39. (84) **松平晃さんによるトランペット演奏** 『千の風になって』『ケサラ』他 4 曲。
40. (85) **国民春闘共闘代表委員 全農協労連・国分委員長** 法令を守れないような企業の商品を買うのは不安だ。従業員を差別し、下された命令にも従わず、いまだ不当労働行為を続ける企業を社会は許さない。一緒にたたかっていく。
41. (86) **金融共闘事務局長 全証労協・松井議長** AIG 役員への巨額ボーナスが話題になっているが、日動火災を吸収しそこに働いた社員を追い出すという経営者の強欲さは、AIG の経営者にもヒケをとらない。東海日動の経営者はまさに強欲で、無責任の典型だ。誤ったエリート意識を捨て、人間らしい、血の通った経営を行うべきだ。解決の日は近い。最後まで共にたたかおう。
42. (87) **全動労争議団・梅木原告** JR が安全よりも利益を優先した結果、福知山線の事故が起こった。利益第一主義の考え方はもはや通用しない。正義は私たちの中にある。粘り強く、最後まで共にたたかおう。
43. (88) **【当事者の訴え】日産センチュリー証券労組・金子副委員長** この金融三争議共同行動のおかげで私のたたかいも解決した。三争議のすべ

てが勝利解決するまで共にたたかっていく。

44. (89) 【当事者の訴え】AIG スター生命囑託事務員解雇闘争・高梨さん  
会社という衣装を身にまとうと人は人間らしさを失ってしまうのでしょうか。司法の判断、行政の判断が下されても素直に従わず、己の利益のためにいまだ差別を続ける会社は許されない。皆さんと最後までたたかっていく。

45. (90) 【当事者の訴え】日動外勤支部・佐藤委員長 本日のご支援に大変勇気付けられたし、元気をいただいた。今後は株主総会をめざしてたたかいてすすめていく。本当にご支援ありがとうございました。勝利・解決するまで徹底的にたたかっていきますので、今後ともご支援よろしくお願いいいたします。

46. (91) 全損保・吉田委員長 アメリカ発の世界同時不況によって、世界で4000万人が失業の危機にあるといわれているが、その労働者一人ひとりに、家族がいて、子供がいる。いま、経営者には、儲けのために切り捨てる対象として労働者を見るのか、家族や子供もいる人間として労働者を見るのか、そのことが問われている。金融危機が起こる前から、巨額の利益を上げる東京海上日動が、もっと利益をあげたいと外勤社員を切り捨てるという暴挙を行っている。こんな出方を決して許すことはできない。

企業合併する前から、東京海上の経営者は、日動社には外勤社員がいて、どういう働きをしているか、どういう社員なのか、十分にわかっていた。わかった上で、雇用を守ると言って合併したはずだ。トップカンパニーの東海日動がわずか50人足らずの外勤社員を雇用できないはずがない。その外勤社員にも家族や子供がいる。彼らは働かないと言っているのではない。引き続き外勤社員として、地域に密着して、お客さんのために働いていくと言っているのに、なぜそんな彼らを雇用できないのか。自分と同じ人間だという目で外勤労働者を見さえすればこの労使紛争は即座に解決する。外勤社員が外勤社員として働き続けられるその日まで、どうか力を貸してください。共に頑張りましょう。

# メッセージ

## 金融3争議共同行動実行委員会 殿

金融3争議共同行動に結集された仲間みなさんに心より敬意を表し、連帯のメッセージをおくります。

「新自由主義」に基づく金融「自由化」を世界に押しつけるグローバル化の下で、規制やルールが破壊され、実態のともなわないカジノ経済がつくられ、一握りの資本家に巨額の富をもたらす一方で、額に汗して働く労働者が報われない社会をつくってきました。サブプライム問題に端を発し、その虚構性が露呈した金融危機は、实体经济に深刻な影響を与えています。これまで大儲けをしてきた大企業は、その犠牲を再び労働者に転嫁し、危機を乗り切ろうとしています。とりわけ、派遣切りなど非正規労働者の使い捨てが大きな問題になっています。徳島では、光洋シーリングテクノや日亜化学において、労働組合を組織し、派遣・請負労働者の使い捨てを許さず正規雇用を求めるたたかいをすすめてきました。テクノでは正規雇用を勝ち取るなど一定の前進をしていますが、日亜化学では、偽装請負を告発した組合員全員が職場から放逐されるなど厳しいたたかいが続いています。労働者や青年に未来が無いということは、企業にも社会にも未来がないということです。

徳島労連は、東京海上日動の外勤社員の切り捨てを許さないたたかいはじめ皆さんのたたかいの一日も早い勝利解決をめざし、共に力を合わせ奮闘する決意です。最後に本日の行動の成功を祈念します。

ともにがんばりましょう。

2009年3月24日

徳島県労働組合総連合  
議長 見田 治

